

ハマハコベ

Honkenya peploides (L.) Ehrh.var.major Hook.

ナデシコ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

石川県では個体数が少なく、全国的な分布域からも貴重である。(現況:RO)

形態

茎は細かく枝を分け、下部は斜状し、上部は開出する。葉は多肉で、長楕円形、先は鋭形、対生した基部は互いに合生する。花は上部の葉腋につき、花弁は5枚、倒卵形で、萼とほぼ同長、花柱は3個である。

国内分布

北海道、本州(北部・おもに日本海側)に分布する。

県内分布

南加賀区、外浦区、舳倉島・七ツ島植物小区系の海岸域に分布する。

生態など

高さ10~20cmで浜をほう多年生草本である。開花期は5~9月。花色は黄色を帯びた白色である。果実は蒴果で肉厚、球形、種子は卵形、平滑で、褐色である。

生育環境

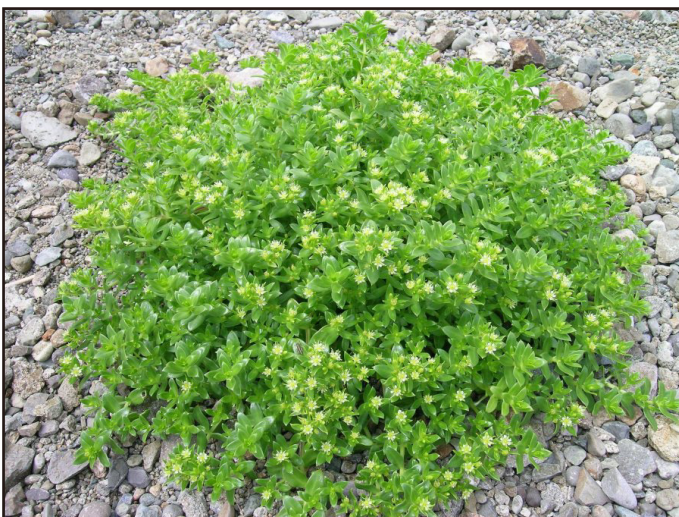
海岸の砂地や砂礫地に生育する。

危険要因

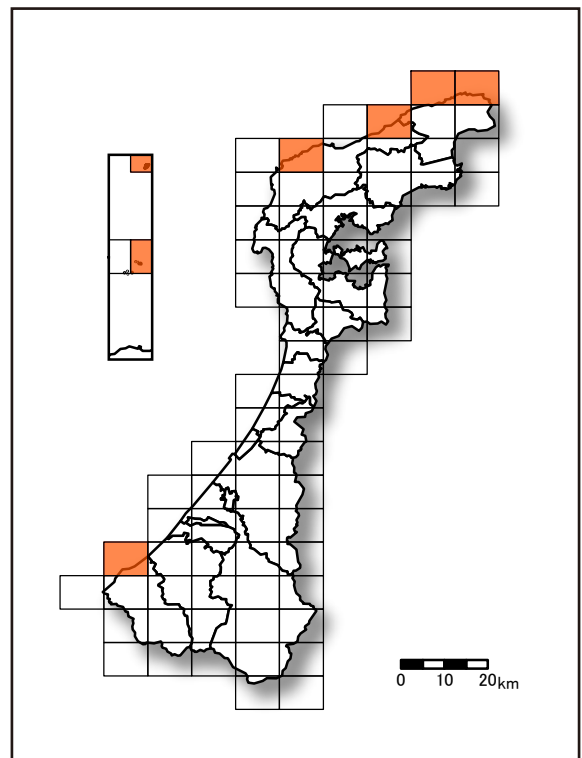
海岸開発、自然遷移。

特記事項

舳倉島や大島(七ツ島)の個体数は大きく減少している。



小野ふみゑ・2005年5月28日・輪島市



県内の分布